

- 豊富な資料にまず感心。日頃から、マスコミの報道(どの局も同じ映像が流れるなど)が、真実を報道せず、その裏にある現実をしっかりと見なければならぬと思っていたのに、まだまだ、自分の認識の甘さに崖然とした。
- 水につかった新幹線の画面を延々と流し、開発によって被害を導いたことや、問題の本質が報道されない。意図的に流す台風被害の状況は、防災・減災の認識を「人ごと」と受け止めさせ、真の問題点を明らかにしていない。
- 日本は土建国家。川の浚渫では、地元の業者が儲からない。一度ダムを作ると決めたら、絶対にやめない。ダムがあれば安心か。否。堤防の推進を。住宅側(堤防の裏側)の堤防に、アーマー・レビー工法の採用を。ダムに比べて、安価にできる。早く完成する。ぜひ、議員は提案してほしいという話は注目したい。
- 職員減らしをやめるべき。
- 防災庁の設置を。イタリアの災害対策は市民安全省(全国の災害状況を3交代で24時間365日、モニタリング)外国の避難所は暖かい食べ物。ワインも。雑魚寝でない。
- 地方自治体や、議員に求められること(資料より抜粋)
  - ◎ 日本で起きている災害の実態をよく知ること
  - ◎ 「初めてのことなので」という言い訳は通用しない
  - ◎ 災害対応の最前線は基礎自治体という法制度
  - ◎ すべての公務員に国民の生命財産を守る責務
  - ◎ すべての国民が健康で文化的な生活を営む権利を有する。(災害時を含めて)
  - ◎ 現場主義